

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 仕事と家庭の両立支援の取り組みについて

#### (1) 育児休業制度の規定

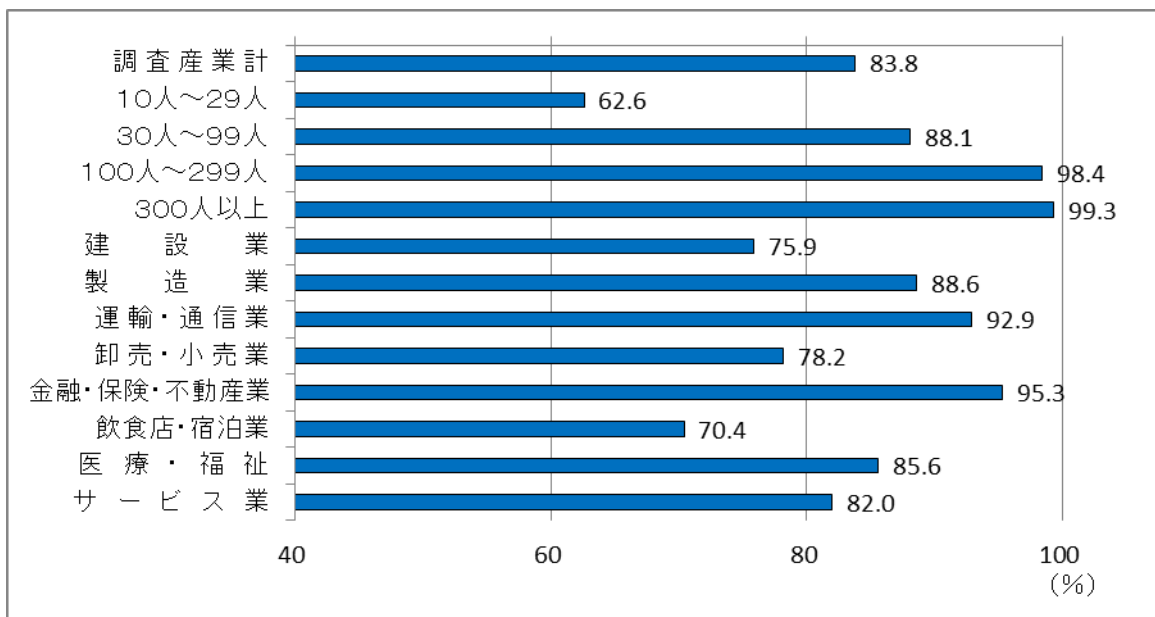
##### ① 育児休業制度の規定状況

育児休業制度の規定状況を見ると、就業規則に「規定している」が83.8%で、前回調査（平成26年度83.5%）と比べ、0.3ポイント増となっている。

規模別にみると、300人以上が99.3%と最も高く、規模が小さくなるほど低く、10~29人が62.6%となっている。

また、産業別では、金融・保険・不動産業が95.3%と最も高く、次いで運輸・通信業が92.9%、製造業が88.6%の順となっている。（図1-1）

図1-1 育児休業制度の規定状況



## ②育児休業の期間

「子が1歳半未満」まで取得できる事業所が、正規従業員（79.1%）、非正規従業員（85.2%）とも高く、法の規定どおりとする事業所が多いといえる。（表 1-1、表 1-2）

表 1-1 育児休業の期間(正規従業員)

区 分	%(件数)				
	計	1歳半未満	2歳未満	3歳未満	3歳以上
調査産業計	100.0 ( 393 )	79.1 ( 311 )	8.9 ( 35 )	10.2 ( 40 )	1.8 ( 7 )
10人～29人	100.0 ( 102 )	89.2 ( 91 )	6.9 ( 7 )	2.9 ( 3 )	1.0 ( 1 )
30人～99人	100.0 ( 95 )	94.7 ( 90 )	4.2 ( 4 )	1.1 ( 1 )	0.0 ( 0 )
100人～299人	100.0 ( 60 )	85.0 ( 51 )	5.0 ( 3 )	8.3 ( 5 )	1.7 ( 1 )
300人以上	100.0 ( 136 )	58.1 ( 79 )	15.4 ( 21 )	22.8 ( 31 )	3.7 ( 5 )
建設業	100.0 ( 22 )	90.9 ( 20 )	4.5 ( 1 )	4.5 ( 1 )	0.0 ( 0 )
製造業	100.0 ( 62 )	83.9 ( 52 )	4.8 ( 3 )	4.8 ( 3 )	6.5 ( 4 )
運輸・通信業	100.0 ( 26 )	73.1 ( 19 )	7.7 ( 2 )	19.2 ( 5 )	0.0 ( 0 )
卸売・小売業	100.0 ( 67 )	83.6 ( 56 )	7.5 ( 5 )	7.5 ( 5 )	1.5 ( 1 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 41 )	51.2 ( 21 )	41.5 ( 17 )	4.9 ( 2 )	2.4 ( 1 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 19 )	89.5 ( 17 )	5.3 ( 1 )	5.3 ( 1 )	0.0 ( 0 )
医療・福祉	100.0 ( 83 )	89.2 ( 74 )	3.6 ( 3 )	6.0 ( 5 )	1.2 ( 1 )
サービス業	100.0 ( 73 )	71.2 ( 52 )	4.1 ( 3 )	24.7 ( 18 )	0.0 ( 0 )

表 1-2 育児休業の期間(非正規従業員)

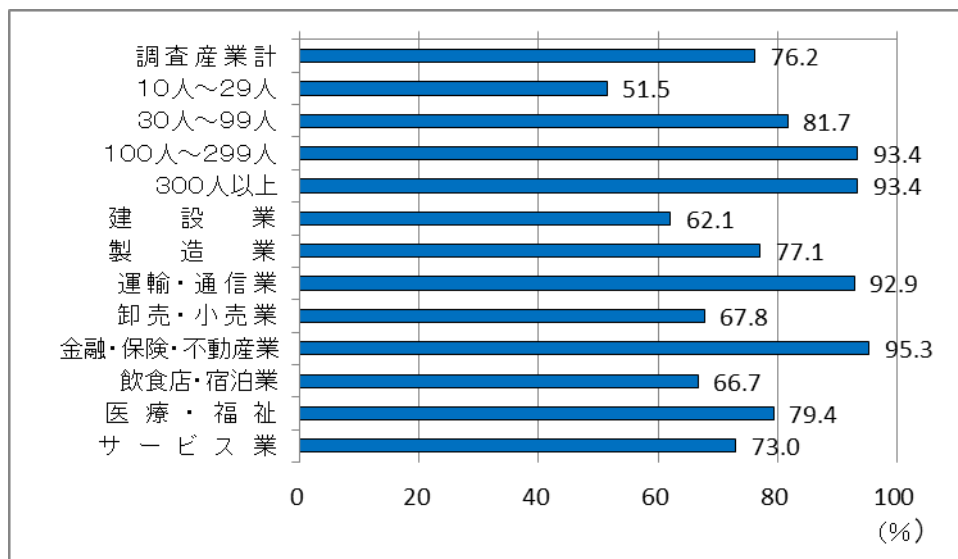
区 分	%(件数)				
	計	1歳半未満	2歳未満	3歳未満	3歳以上
調査産業計	100.0 ( 338 )	85.2 ( 288 )	9.2 ( 31 )	4.7 ( 16 )	0.9 ( 3 )
10人～29人	100.0 ( 78 )	89.7 ( 70 )	6.4 ( 5 )	2.6 ( 2 )	1.3 ( 1 )
30人～99人	100.0 ( 79 )	94.9 ( 75 )	3.8 ( 3 )	1.3 ( 1 )	0.0 ( 0 )
100人～299人	100.0 ( 52 )	88.5 ( 46 )	3.8 ( 2 )	5.8 ( 3 )	1.9 ( 1 )
300人以上	100.0 ( 129 )	75.2 ( 97 )	16.3 ( 21 )	7.8 ( 10 )	0.8 ( 1 )
建設業	100.0 ( 18 )	94.4 ( 17 )	0.0 ( 0 )	5.6 ( 1 )	0.0 ( 0 )
製造業	100.0 ( 51 )	92.2 ( 47 )	3.9 ( 2 )	3.9 ( 2 )	0.0 ( 0 )
運輸・通信業	100.0 ( 21 )	81.0 ( 17 )	4.8 ( 1 )	14.3 ( 3 )	0.0 ( 0 )
卸売・小売業	100.0 ( 63 )	82.5 ( 52 )	7.9 ( 5 )	7.9 ( 5 )	1.6 ( 1 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 37 )	51.4 ( 19 )	45.9 ( 17 )	0.0 ( 0 )	2.7 ( 1 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 17 )	100.0 ( 17 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
医療・福祉	100.0 ( 68 )	89.7 ( 61 )	4.4 ( 3 )	4.4 ( 3 )	1.5 ( 1 )
サービス業	100.0 ( 63 )	92.1 ( 58 )	4.8 ( 3 )	3.2 ( 2 )	0.0 ( 0 )

## (2) 育児を支援するための措置

育児を支援するための措置を就業規則に定めている事業所の割合は、76.2%で、前回調査（平成26年度79.5%）と比べ、3.3ポイント減となっている。

これを規模別にみると、300人以上と100～299人が93.4%と最も高く、規模が小さくなるほど低く、10人～29人が51.5%となっている。産業別では、金融・保険・不動産業が95.3%と最も高く、次いで運輸・通信業が92.9%、医療・福祉が79.4%の順となっている。（図2-1）

図2-1 育児を支援するための措置



育児を支援するための措置の制度がある事業所において、最長で子が何歳になるまで利用できるかについては、「子が3歳未満」が33.0%、「子が就学まで」が30.4%となっている。(表2)

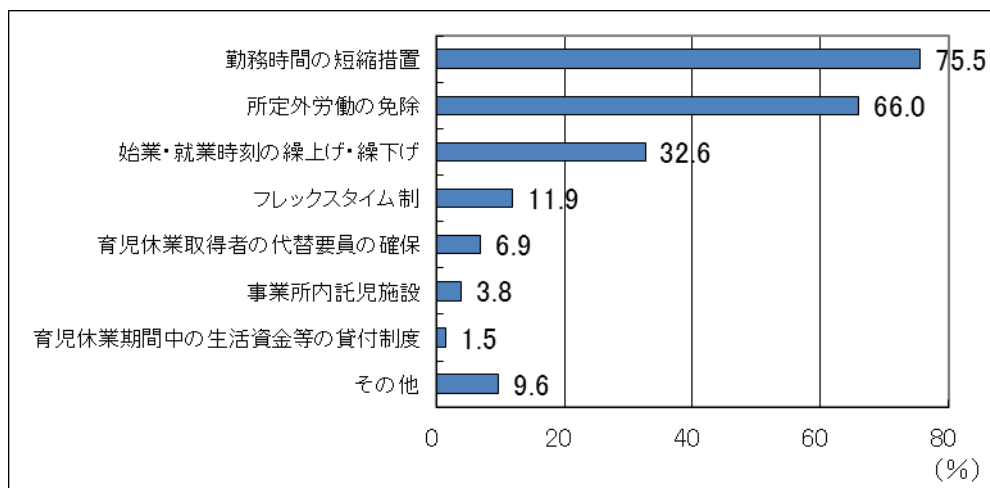
育児のための各種制度の導入状況(複数回答)をみると、「勤務時間の短縮措置」が75.5%と最も高く、次いで「所定外労働の免除」が66.0%、「始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ」が32.6%の順となっている。(図2-2)

表2 育児のための勤務時間短縮等の措置の期間

% (件数)

区分	計	制度あり			制度なし	無回答・不明	
		最長利用期間					
		3歳未満	就学まで	就学後も利用可			
調査産業計	100.0 ( 470 )	76.2 ( 358 )	33.0 ( 155 )	30.4 ( 143 )	12.8 ( 60 )	20.4 ( 96 )	3.4 ( 16 )
10人~29人	100.0 ( 163 )	51.5 ( 84 )	38.0 ( 62 )	9.2 ( 15 )	4.3 ( 7 )	42.9 ( 70 )	5.5 ( 9 )
30人~99人	100.0 ( 109 )	81.7 ( 89 )	35.8 ( 39 )	35.8 ( 39 )	10.1 ( 11 )	14.7 ( 16 )	3.7 ( 4 )
100人~299人	100.0 ( 61 )	93.4 ( 57 )	34.4 ( 21 )	47.5 ( 29 )	11.5 ( 7 )	4.9 ( 3 )	1.6 ( 1 )
300人以上	100.0 ( 137 )	93.4 ( 128 )	24.1 ( 33 )	43.8 ( 60 )	25.5 ( 35 )	5.1 ( 7 )	1.5 ( 2 )
建設業	100.0 ( 29 )	62.1 ( 18 )	44.8 ( 13 )	13.8 ( 4 )	3.4 ( 1 )	31.0 ( 9 )	6.9 ( 2 )
製造業	100.0 ( 70 )	77.1 ( 54 )	37.1 ( 26 )	28.6 ( 20 )	11.4 ( 8 )	20.0 ( 14 )	2.9 ( 2 )
運輸・通信業	100.0 ( 28 )	92.9 ( 26 )	35.7 ( 10 )	42.9 ( 12 )	14.3 ( 4 )	7.1 ( 2 )	0.0 ( 0 )
卸売・小売業	100.0 ( 87 )	67.8 ( 59 )	26.4 ( 23 )	25.3 ( 22 )	16.1 ( 14 )	28.7 ( 25 )	3.4 ( 3 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 43 )	95.3 ( 41 )	23.3 ( 10 )	65.1 ( 28 )	7.0 ( 3 )	4.7 ( 2 )	0.0 ( 0 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 27 )	66.7 ( 18 )	29.6 ( 8 )	22.2 ( 6 )	14.8 ( 4 )	33.3 ( 9 )	0.0 ( 0 )
医療・福祉	100.0 ( 97 )	79.4 ( 77 )	33.0 ( 32 )	34.0 ( 33 )	12.4 ( 12 )	17.5 ( 17 )	3.1 ( 3 )
サービス業	100.0 ( 89 )	73.0 ( 65 )	37.1 ( 33 )	20.2 ( 18 )	15.7 ( 14 )	20.2 ( 18 )	6.7 ( 6 )

図2-2 育児を支援するための措置の内容



### (3) 育児のための短時間勤務制度の利用状況

育児のための短時間勤務制度の利用人数は、近年大きな変動はみられない。また男性の利用はほとんどない。

表3 育児のための短時間勤務制度利用者人数

(人)

		H24.4.1～ H25.3.31	H25.4.1～ H26.3.31	H26.4.1～ H27.3.31	H27.4.1～ H27.7.31
男性	正規	2	1	1	2
	非正規	0	0	0	0
女性	正規	93	117	119	114
	非正規	7	6	10	8

#### (4) 育児休業制度の利用状況

##### ① 育児休業対象者及び取得者の有無

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日までの 1 年間に出産した従業員（配偶者含む）のうち、平成 27 年 7 月 31 日までの育児休業の取得者の人数は、正規従業員においては、女性の対象者 172 人のうち取得者 165 人（取得率 95.9%）、男性の対象者 333 人のうち取得者 5 人（取得率 1.5%）となっている。（図 3-1）

非正規従業員においては、女性の対象者 52 人のうち取得者 35 人（取得率 67.3%）、男性の対象者 2 人のうち取得者 0 人（取得率 0%）となっている。（図 3-2）

図 3-1 育児休業の取得状況(正規従業員)

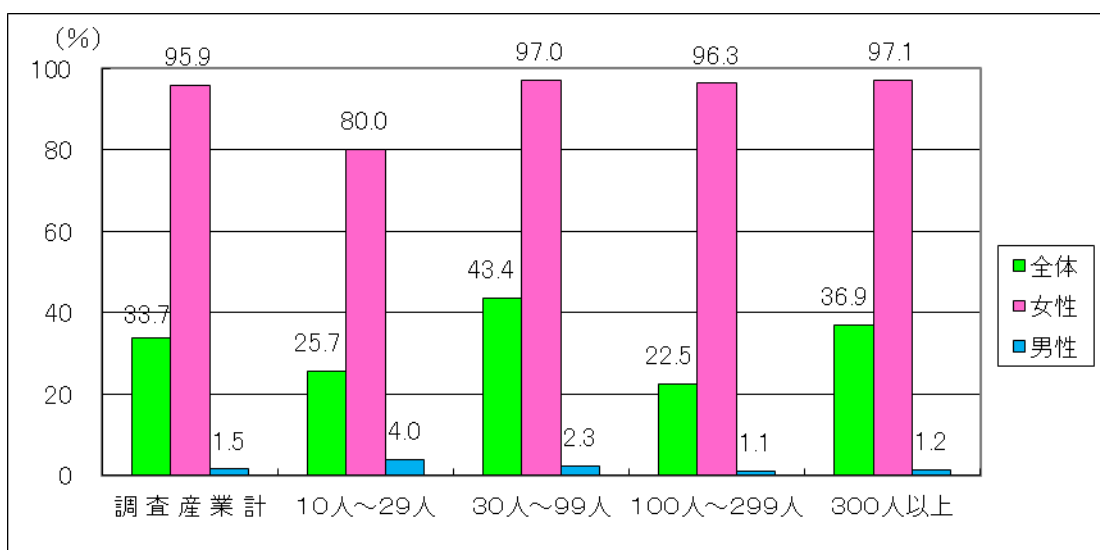
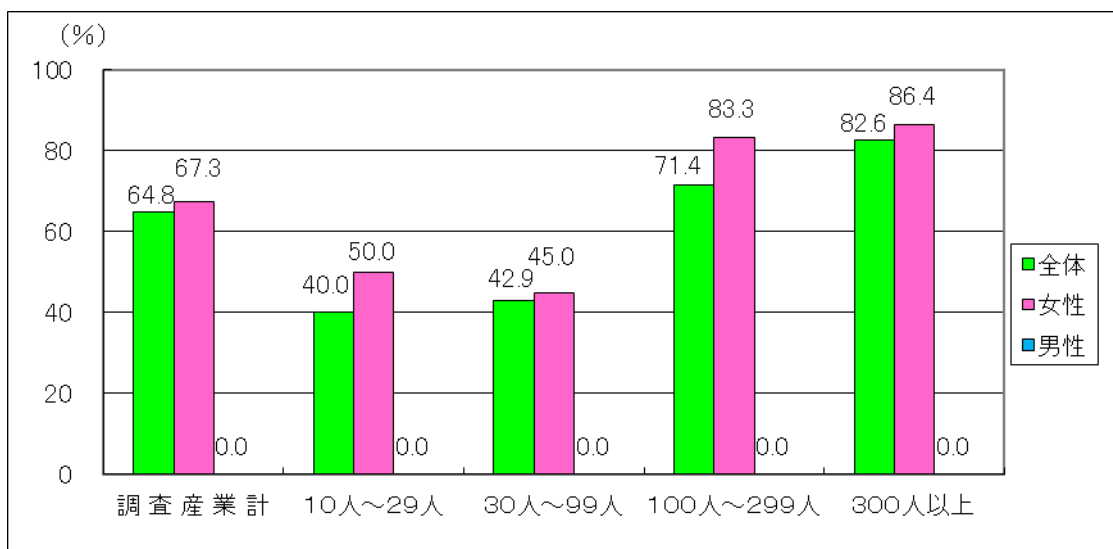


図 3-2 育児休業の取得状況(非正規従業員)



## ②出産、育児休業を取得した人の退職の状況について

平成26年4月1日～平成27年7月31日の間に出産し、育児休業を取得した人（170人）のうち退職した正規従業員で16人の退職時期は「出産を機に退職」が43.8%と最も高く、非正規従業員で育児休業の取得者35人のうち退職した20人の退職時期も「出産を機に退職」（75.0%）が最も高い状況にある。（表4-1、表4-2）

表4-1 出産、育児休業を取得した人の退職の状況(正規従業員)

区 分	% (件数)			
	計	育児休業中に退職	育児休業終了と同時に退職	出産を機に退職
調査産業計	100.0 ( 16 )	25.0 ( 4 )	31.3 ( 5 )	43.8 ( 7 )
10人～29人	100.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 1 )
30人～99人	100.0 ( 4 )	50.0 ( 2 )	0.0 ( 0 )	50.0 ( 2 )
100人～299人	100.0 ( 8 )	25.0 ( 2 )	50.0 ( 4 )	25.0 ( 2 )
300人以上	100.0 ( 3 )	0.0 ( 0 )	33.3 ( 1 )	66.7 ( 2 )
建設業	100.0 ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )
製造業	100.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 1 )
運輸・通信業	100.0 ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )
卸売・小売業	100.0 ( 6 )	33.3 ( 2 )	66.7 ( 4 )	0.0 ( 0 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 1 )
医療・福祉	100.0 ( 7 )	28.6 ( 2 )	14.3 ( 1 )	57.1 ( 4 )
サービス業	100.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 1 )

表4-2 出産、育児休業を取得した人の退職の状況(非正規従業員)

区 分	% (件数)			
	計	育児休業中に退職	育児休業終了と同時に退職	出産を機に退職
調査産業計	100.0 ( 20 )	10.0 ( 2 )	15.0 ( 3 )	75.0 ( 15 )
10人～29人	100.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 1 )
30人～99人	100.0 ( 7 )	14.3 ( 1 )	28.6 ( 2 )	57.1 ( 4 )
100人～299人	100.0 ( 7 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 7 )
300人以上	100.0 ( 5 )	20.0 ( 1 )	20.0 ( 1 )	60.0 ( 3 )
建設業	100.0 ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )
製造業	100.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 1 )
運輸・通信業	100.0 ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )
卸売・小売業	100.0 ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )	- ( 0 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 6 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	100.0 ( 6 )
医療・福祉	100.0 ( 10 )	20.0 ( 2 )	20.0 ( 2 )	60.0 ( 6 )
サービス業	100.0 ( 3 )	0.0 ( 0 )	33.3 ( 1 )	66.7 ( 2 )

## (5)子の看護休暇制度

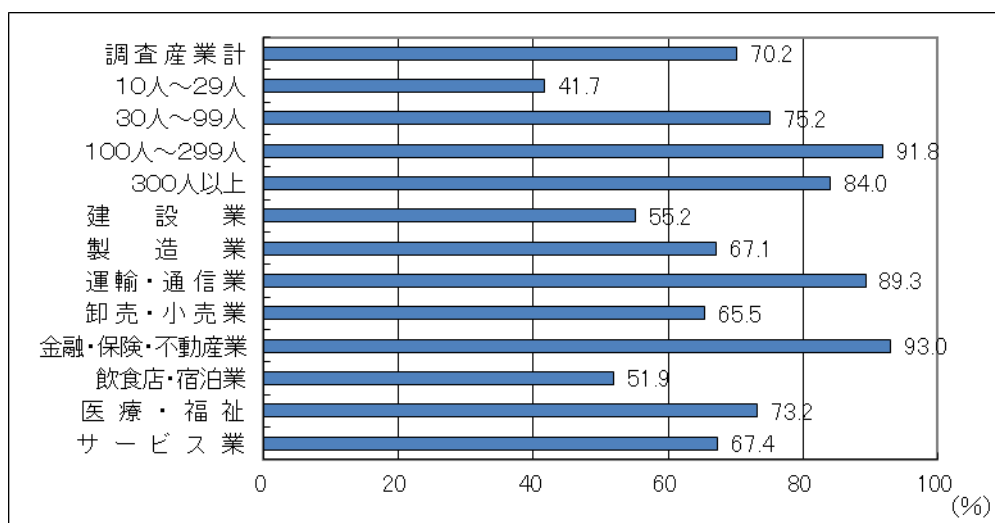
### ①子の看護休暇制度の規定状況

子の看護休暇制度の規定状況をみると、就業規則に「規定している」が70.2%で、前回調査（平成26年度72.2%）と比べ、2.0ポイント減となっている。

規模別にみると、100人～299人が91.8%と最も高く、10人～29人が41.7%と最も低い。

産業別では、金融・保険・不動産業が93.0%、次いで運輸・通信業が89.3%、医療・福祉が73.2%の順となっている。（図4）

図4 子の看護休暇制度の規定状況





## ②子の看護休暇の期間

制度の規定がある事業所における休暇が取得できる期間をみると、「子が小学校就学まで」が正規従業員（85.2%）、非正規従業員（78.5%）と最も多く、法定どおりの規定である事業所が多い。

（表 5-1、表 5-2）

表 5-1 子の看護休暇の期間(正規従業員)

%(件数)

区 分	計	3歳未満	小学校就学まで	小学校3年生まで	小学校卒業まで	小学校卒業後も取得可	無回答・不明
調査産業計	100.0 ( 330 )	6.1 ( 20 )	85.2 ( 281 )	4.5 ( 15 )	0.6 ( 2 )	2.4 ( 8 )	1.2 ( 4 )
10人~29人	100.0 ( 68 )	17.6 ( 12 )	75.0 ( 51 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	2.9 ( 2 )	4.4 ( 3 )
30人~99人	100.0 ( 82 )	6.1 ( 5 )	89.0 ( 73 )	1.2 ( 1 )	1.2 ( 1 )	2.4 ( 2 )	0.0 ( 0 )
100人~299人	100.0 ( 56 )	3.6 ( 2 )	89.3 ( 50 )	5.4 ( 3 )	1.8 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
300人以上	100.0 ( 124 )	0.8 ( 1 )	86.3 ( 107 )	8.9 ( 11 )	0.0 ( 0 )	3.2 ( 4 )	0.8 ( 1 )
建設業	100.0 ( 16 )	0.0 ( 0 )	93.8 ( 15 )	6.3 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
製造業	100.0 ( 47 )	10.6 ( 5 )	76.6 ( 36 )	4.3 ( 2 )	0.0 ( 0 )	2.1 ( 1 )	6.4 ( 3 )
運輸・通信業	100.0 ( 25 )	8.0 ( 2 )	84.0 ( 21 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	8.0 ( 2 )	0.0 ( 0 )
卸売・小売業	100.0 ( 57 )	7.0 ( 4 )	89.5 ( 51 )	1.8 ( 1 )	0.0 ( 0 )	1.8 ( 1 )	0.0 ( 0 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 40 )	0.0 ( 0 )	85.0 ( 34 )	7.5 ( 3 )	0.0 ( 0 )	7.5 ( 3 )	0.0 ( 0 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 14 )	14.3 ( 2 )	85.7 ( 12 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
医療・福祉	101.0 ( 14 )	14.3 ( 2 )	85.7 ( 12 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
サービス業	100.0 ( 71 )	4.2 ( 3 )	91.5 ( 65 )	1.4 ( 1 )	1.4 ( 1 )	0.0 ( 0 )	1.4 ( 1 )

表 5-2 子の看護休暇の期間(非正規従業員)

%(件数)

区 分	計	3歳未満	小学校就学まで	小学校3年生まで	小学校卒業まで	小学校卒業後も取得可	無回答・不明
調査産業計	100.0 ( 330 )	4.2 ( 14 )	78.5 ( 259 )	3.6 ( 12 )	0.3 ( 1 )	2.1 ( 7 )	11.2 ( 37 )
10人~29人	100.0 ( 68 )	13.2 ( 9 )	67.6 ( 46 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	2.9 ( 2 )	16.2 ( 11 )
30人~99人	100.0 ( 82 )	4.9 ( 4 )	79.3 ( 65 )	1.2 ( 1 )	1.2 ( 1 )	2.4 ( 2 )	11.0 ( 9 )
100人~299人	100.0 ( 56 )	0.0 ( 0 )	78.6 ( 44 )	5.4 ( 3 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	16.1 ( 9 )
300人以上	100.0 ( 124 )	0.8 ( 1 )	83.9 ( 104 )	6.5 ( 8 )	0.0 ( 0 )	2.4 ( 3 )	6.5 ( 8 )
建設業	100.0 ( 16 )	0.0 ( 0 )	75.0 ( 12 )	6.3 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	18.8 ( 3 )
製造業	100.0 ( 47 )	8.5 ( 4 )	70.2 ( 33 )	4.3 ( 2 )	0.0 ( 0 )	2.1 ( 1 )	14.9 ( 7 )
運輸・通信業	100.0 ( 25 )	8.0 ( 2 )	80.0 ( 20 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	4.0 ( 1 )	8.0 ( 2 )
卸売・小売業	100.0 ( 57 )	5.3 ( 3 )	82.5 ( 47 )	1.8 ( 1 )	0.0 ( 0 )	1.8 ( 1 )	8.8 ( 5 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 40 )	0.0 ( 0 )	82.5 ( 33 )	2.5 ( 1 )	0.0 ( 0 )	7.5 ( 3 )	7.5 ( 3 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 14 )	14.3 ( 2 )	71.4 ( 10 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	14.3 ( 2 )
医療・福祉	101.0 ( 14 )	14.3 ( 2 )	71.4 ( 10 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	14.3 ( 2 )
サービス業	100.0 ( 71 )	1.4 ( 1 )	85.9 ( 61 )	1.4 ( 1 )	1.4 ( 1 )	0.0 ( 0 )	9.9 ( 7 )

### ③子の看護休暇の日数

制度の規定がある事業所における休暇が取得できる日数をみると、「子1人で年5日、子2人以上で年10日まで」が正規従業員（83.6%）、非正規従業員（76.7%）と最も多く、法定どおりの規定である事業所が多い。（表6-1、表6-2）

表6-1 子の看護休暇の日数(正規従業員)

区 分	計	% (件数)			
		子の人数に関わらず年 5日まで	子1人で年5日、子2人 以上で年10日まで	その他	無回答・不明
調査産業計	100.0 ( 330 )	12.1 ( 40 )	83.6 ( 276 )	2.1 ( 7 )	2.1 ( 7 )
10人～29人	100.0 ( 68 )	22.1 ( 15 )	61.8 ( 42 )	8.8 ( 6 )	7.4 ( 5 )
30人～99人	100.0 ( 82 )	17.1 ( 14 )	82.9 ( 68 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
100人～299人	100.0 ( 56 )	5.4 ( 3 )	94.6 ( 53 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
300人以上	100.0 ( 124 )	6.5 ( 8 )	91.1 ( 113 )	0.8 ( 1 )	1.6 ( 2 )
建設業	100.0 ( 16 )	12.5 ( 2 )	87.5 ( 14 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
製造業	100.0 ( 47 )	6.4 ( 3 )	85.1 ( 40 )	4.3 ( 2 )	4.3 ( 2 )
運輸・通信業	100.0 ( 25 )	28.0 ( 7 )	68.0 ( 17 )	0.0 ( 0 )	4.0 ( 1 )
卸売・小売業	100.0 ( 57 )	12.3 ( 7 )	87.7 ( 50 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 40 )	5.0 ( 2 )	90.0 ( 36 )	5.0 ( 2 )	0.0 ( 0 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 14 )	14.3 ( 2 )	71.4 ( 10 )	7.1 ( 1 )	7.1 ( 1 )
サービス業	100.0 ( 71 )	15.5 ( 11 )	81.7 ( 58 )	0.0 ( 0 )	2.8 ( 2 )

表6-2 子の看護休暇の日数(非正規従業員)

区 分	計	% (件数)			
		子の人数に関わらず年 5日まで	子1人で年5日、子2人 以上で年10日まで	その他	無回答・不明
調査産業計	100.0 ( 330 )	9.1 ( 30 )	76.7 ( 253 )	3.3 ( 11 )	10.9 ( 36 )
10人～29人	100.0 ( 68 )	14.7 ( 10 )	58.8 ( 40 )	7.4 ( 5 )	19.1 ( 13 )
30人～99人	100.0 ( 82 )	12.2 ( 10 )	75.6 ( 62 )	2.4 ( 2 )	9.8 ( 8 )
100人～299人	100.0 ( 56 )	7.1 ( 4 )	76.8 ( 43 )	0.0 ( 0 )	16.1 ( 9 )
300人以上	100.0 ( 124 )	4.8 ( 6 )	87.1 ( 108 )	3.2 ( 4 )	4.8 ( 6 )
建設業	100.0 ( 16 )	6.3 ( 1 )	75.0 ( 12 )	0.0 ( 0 )	18.8 ( 3 )
製造業	100.0 ( 47 )	0.0 ( 0 )	83.0 ( 39 )	4.3 ( 2 )	12.8 ( 6 )
運輸・通信業	100.0 ( 25 )	20.0 ( 5 )	64.0 ( 16 )	0.0 ( 0 )	16.0 ( 4 )
卸売・小売業	100.0 ( 57 )	10.5 ( 6 )	80.7 ( 46 )	1.8 ( 1 )	7.0 ( 4 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 40 )	2.5 ( 1 )	85.0 ( 34 )	7.5 ( 3 )	5.0 ( 2 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 14 )	21.4 ( 3 )	50.0 ( 7 )	7.1 ( 1 )	21.4 ( 3 )
サービス業	100.0 ( 71 )	14.1 ( 10 )	73.2 ( 52 )	1.4 ( 1 )	11.3 ( 8 )

## (6)子の看護休暇の取得状況

子の看護休暇の取得人数は、近年大きな変動は見られない。

表 7 子の看護休暇利用者人数

		H24.4.1～ H25.3.31	H25.4.1～ H26.3.31	H26.4.1～ H27.3.31	H27.4.1～ H27.7.31
男性	正規	16	20	17	12
	非正規	0	0	0	0
女性	正規	63	69	75	48
	非正規	24	33	36	30

## (7)介護休業制度

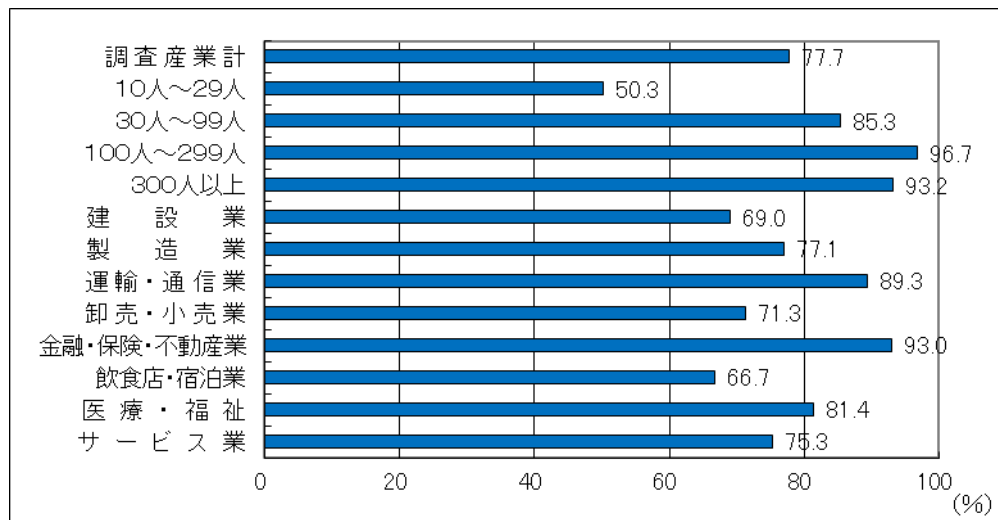
### ①介護休業制度の規定状況

介護休業制度の規定状況を見ると、就業規則に「規定している」が 77.7%で、前回調査（平成 26 年度 77.6%）と比べ、0.1 ポイント増となっている。

これを規模別で見ると、100～299 人が 96.7%と最も高く、10 人～29 人が 50.3%と最も低い。

また、産業別では、金融・保険・不動産業が 93.0%、次いで運輸・通信業が 89.3%、医療・福祉が 81.4%の順となっている。（図 5）

図 5 介護休業制度の規定状況



## ②介護休業の期間

制度の規定がある事業所における介護休業が取得できる期間をみると、「通算93日まで」が正規従業員（75.9%）、パートタイム従業員（74.2%）と法定どおりの規定がある事業所が多いが、「通算6ヶ月まで」や「通算1年まで」などという法を上回る取り組みのある事業所もある。（表8-1、表8-2）

表 8-1 介護休業の期間(正規従業員)

区 分	計	%(件数)						
		通算93日まで	通算6ヶ月まで	通算1年まで	限度がなく必要な期間取得できる	その他	無回答・不明	
調査産業計	100.0 ( 365 )	75.9 ( 277 )	7.1 ( 26 )	9.3 ( 34 )	0.8 ( 3 )	6.3 ( 23 )	0.5 ( 2 )	
10人~29人	100.0 ( 82 )	81.7 ( 67 )	3.7 ( 3 )	6.1 ( 5 )	3.7 ( 3 )	3.7 ( 3 )	1.2 ( 1 )	
30人~99人	100.0 ( 93 )	84.9 ( 79 )	5.4 ( 5 )	4.3 ( 4 )	0.0 ( 0 )	5.4 ( 5 )	0.0 ( 0 )	
100人~299人	100.0 ( 59 )	88.1 ( 52 )	1.7 ( 1 )	6.8 ( 4 )	0.0 ( 0 )	3.4 ( 2 )	0.0 ( 0 )	
300人以上	100.0 ( 131 )	60.3 ( 79 )	13.0 ( 17 )	16.0 ( 21 )	0.0 ( 0 )	9.9 ( 13 )	0.8 ( 1 )	
建設業	100.0 ( 20 )	80.0 ( 16 )	0.0 ( 0 )	10.0 ( 2 )	5.0 ( 1 )	5.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	
製造業	100.0 ( 54 )	74.1 ( 40 )	7.4 ( 4 )	5.6 ( 3 )	1.9 ( 1 )	9.3 ( 5 )	1.9 ( 1 )	
運輸・通信業	100.0 ( 25 )	80.0 ( 20 )	0.0 ( 0 )	20.0 ( 5 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	
卸売・小売業	100.0 ( 62 )	74.2 ( 46 )	3.2 ( 2 )	11.3 ( 7 )	1.6 ( 1 )	9.7 ( 6 )	0.0 ( 0 )	
金融・保険・不動産業	100.0 ( 40 )	82.5 ( 33 )	0.0 ( 0 )	12.5 ( 5 )	0.0 ( 0 )	5.0 ( 2 )	0.0 ( 0 )	
飲食店・宿泊業	100.0 ( 18 )	77.8 ( 14 )	5.6 ( 1 )	16.7 ( 3 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	
医療・福祉	101.0 ( 18 )	77.8 ( 14 )	5.6 ( 1 )	16.7 ( 3 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	
サービス業	100.0 ( 79 )	87.3 ( 69 )	6.3 ( 5 )	1.3 ( 1 )	0.0 ( 0 )	3.8 ( 3 )	1.3 ( 1 )	

表 8-2 介護休業の期間(パートタイム従業員)

区 分	計	%(件数)						
		通算93日まで	通算6ヶ月まで	通算1年まで	限度がなく必要な期間取得できる	その他	無回答・不明	
調査産業計	100.0 ( 365 )	74.2 ( 271 )	4.1 ( 15 )	4.7 ( 17 )	1.1 ( 4 )	5.8 ( 21 )	10.1 ( 37 )	
10人~29人	100.0 ( 82 )	72.0 ( 59 )	2.4 ( 2 )	3.7 ( 3 )	3.7 ( 3 )	3.7 ( 3 )	14.6 ( 12 )	
30人~99人	100.0 ( 93 )	77.4 ( 72 )	4.3 ( 4 )	2.2 ( 2 )	0.0 ( 0 )	4.3 ( 4 )	11.8 ( 11 )	
100人~299人	100.0 ( 59 )	76.3 ( 45 )	0.0 ( 0 )	5.1 ( 3 )	1.7 ( 1 )	5.1 ( 3 )	11.9 ( 7 )	
300人以上	100.0 ( 131 )	72.5 ( 95 )	6.9 ( 9 )	6.9 ( 9 )	0.0 ( 0 )	8.4 ( 11 )	5.3 ( 7 )	
建設業	100.0 ( 20 )	60.0 ( 12 )	0.0 ( 0 )	5.0 ( 1 )	5.0 ( 1 )	5.0 ( 1 )	25.0 ( 5 )	
製造業	100.0 ( 54 )	66.7 ( 36 )	7.4 ( 4 )	5.6 ( 3 )	1.9 ( 1 )	7.4 ( 4 )	11.1 ( 6 )	
運輸・通信業	100.0 ( 25 )	84.0 ( 21 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	16.0 ( 4 )	
卸売・小売業	100.0 ( 62 )	69.4 ( 43 )	3.2 ( 2 )	9.7 ( 6 )	1.6 ( 1 )	8.1 ( 5 )	8.1 ( 5 )	
金融・保険・不動産業	100.0 ( 40 )	80.0 ( 32 )	0.0 ( 0 )	7.5 ( 3 )	0.0 ( 0 )	7.5 ( 3 )	5.0 ( 2 )	
飲食店・宿泊業	100.0 ( 18 )	72.2 ( 13 )	5.6 ( 1 )	0.0 ( 0 )	5.6 ( 1 )	0.0 ( 0 )	16.7 ( 3 )	
医療・福祉	101.0 ( 18 )	72.2 ( 13 )	5.6 ( 1 )	0.0 ( 0 )	5.6 ( 1 )	0.0 ( 0 )	16.7 ( 3 )	
サービス業	100.0 ( 79 )	83.5 ( 66 )	2.5 ( 2 )	1.3 ( 1 )	0.0 ( 0 )	3.8 ( 3 )	8.9 ( 7 )	

### ③介護休業制度の利用状況

介護休業制度の利用状況については、「利用実績なし」が94.8%であり、産業別で見ると、建設業、金融・保険・不動産業、飲食店・宿泊業において利用実績がない状況である。

男女別で見ると、女性のみ利用実績ありが2.7%、男性のみ利用実績ありは0.0%であり、男女とも利用実績ありは1.1%である。(表9)

表9 介護休業制度の利用状況

%(件数)

区分	計	利用実績なし	女性のみ利用実績あり	男性のみ利用実績あり	男女とも利用実績あり	無回答・不明
調査産業計	100.0 ( 365 )	94.8 ( 346 )	2.7 ( 10 )	0.0 ( 0 )	1.1 ( 4 )	1.4 ( 5 )
10人~29人	100.0 ( 82 )	97.6 ( 80 )	1.2 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	1.2 ( 1 )
30人~99人	100.0 ( 93 )	95.7 ( 89 )	1.1 ( 1 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	3.2 ( 3 )
100人~299人	100.0 ( 59 )	93.2 ( 55 )	5.1 ( 3 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	1.7 ( 1 )
300人以上	100.0 ( 131 )	93.1 ( 122 )	3.8 ( 5 )	0.0 ( 0 )	3.1 ( 4 )	0.0 ( 0 )
建設業	100.0 ( 20 )	100.0 ( 20 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
製造業	100.0 ( 54 )	88.9 ( 48 )	7.4 ( 4 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	3.7 ( 2 )
運輸・通信業	100.0 ( 25 )	88.0 ( 22 )	4.0 ( 1 )	0.0 ( 0 )	8.0 ( 2 )	0.0 ( 0 )
卸売・小売業	100.0 ( 62 )	96.8 ( 60 )	1.6 ( 1 )	0.0 ( 0 )	1.6 ( 1 )	0.0 ( 0 )
金融・保険・不動産業	100.0 ( 40 )	100.0 ( 40 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
飲食店・宿泊業	100.0 ( 18 )	100.0 ( 18 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )
医療・福祉	101.0 ( 79 )	91.1 ( 72 )	5.1 ( 4 )	0.0 ( 0 )	1.3 ( 1 )	2.5 ( 2 )
サービス業	100.0 ( 67 )	98.5 ( 66 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	0.0 ( 0 )	1.5 ( 1 )

### (8)介護休業制度の取得状況

介護休業の取得者数は、女性の従業員において近年増加傾向にある。(表10)

表10 介護休業制度利用者人数

(人)

		H24.4.1~ H25.3.31	H25.4.1~ H26.3.31	H26.4.1~ H27.3.31	H27.4.1~ H27.7.31
男性	正規	2	3	3	3
	非正規	0	2	2	2
女性	正規	6	13	16	5
	非正規	5	4	8	11

## (9) 介護のための所定労働時間短縮等の措置

介護のための所定労働時間短縮等の措置状況をみると、就業規則に「規定している」が 72.8%で、前回調査（平成 26 年度 75.2%）と比べ、2.4 ポイント減となっている。

これを規模別にみると、300 人以上が 92.7%と最も高く、規模が小さいほど低く、10～29 人が 48.5%となっている。産業別では、運輸・通信業が 92.9%、金融・保険・不動産業が 88.4%、次いで医療・福祉、サービス業が 75.3%の順となっている。（図 6）

介護のための各種制度の導入状況（複数回答）をみると、「短時間勤務制度」が 85.4%と最も高く、次いで「所定外労働をさせない制度」が 50.0%、「始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ」が 36.0%となっている。（図 7）

図 6 介護のための所定労働時間短縮等の措置

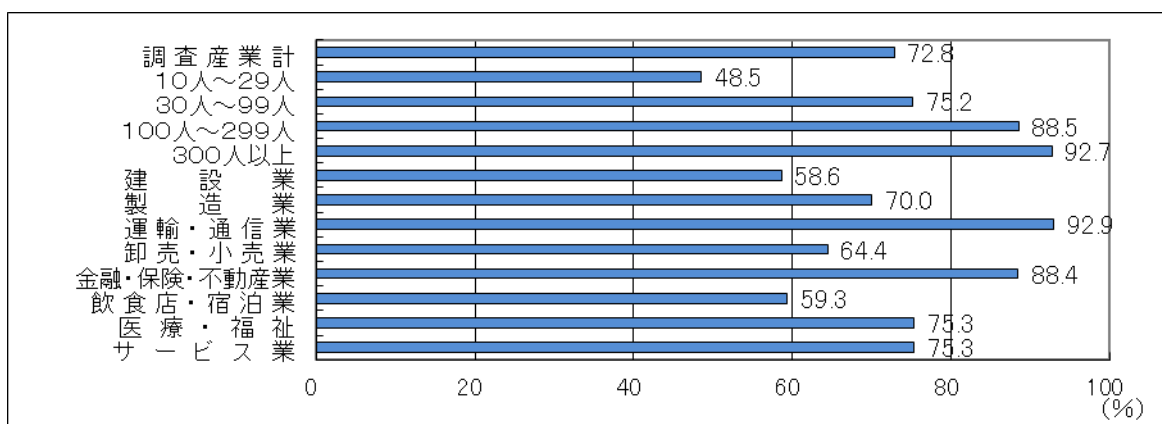
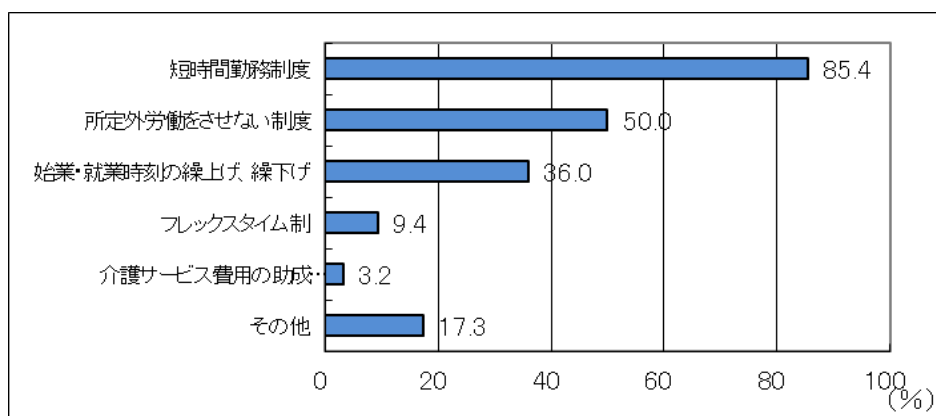


図 7 介護のための所定労働時間短縮等の措置内容



## (10) 介護休暇制度の規定状況

介護休暇制度の規定状況をみると、就業規則に「規定している」が 69.8%で、前回調査（平成 26 年度 67.5%）と比べ、2.3 ポイント増となっている。

これを規模別にみると、300 人以上が 90.4%と最も高く、規模が小さいほど低く、10～29 人が 40.5%となっている。

また、産業別では、金融・保険・不動産業が 93.0%と最も高く、次に運輸・通信業が 78.6%、医療・福祉が 71.1%の順となっている。（図 8）

図 8 介護休暇制度の規定状況

